

平成27年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議
合同茶業部会現地研究会開催要領

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 吉田 建実

1. 趣旨

近年、海外では「Cool Japan」などの言葉もあるように日本文化に関する興味や関心が強くなっている。2013年12月には、「和食」が「日本の伝統的な食文化」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、注目を浴びている。しかし、国内では、食の多様化により、和食のみならず喫茶の習慣にも変化が生じ、緑茶リーフの需要が低迷するなど、国内需要は伸び悩みの様相を呈している。

緑茶の海外輸出は明治時代から本格的に行われてきたが、昭和に入ると太平洋戦争により一時中断され、中国等の生産拡大により1990年には300tまで落ち込んだ。近年、国産緑茶の海外需要が高まり、輸出先の残留農薬基準などの課題もあるものの、茶生産地においては輸出に向けた様々な取組が始まっている。一方で、外国人観光客などが増加していることから、輸出だけでなく、国内における直接販売や観光の一環として「茶園ツーリズム」の仕掛けなども今後考えられる。

そこで、各生産地における茶輸出拡大への取組の現状及び動向について情報交換し、技術的、行政的課題の抽出と今後の試験研究等のあり方について検討する。

2. 開催日時

平成27年10月21日（水）12：30 ～ 22日（木）12：00

3. 開催場所

(1) 現地視察（1日目）

京都府京田辺市、相楽郡和東町

(2) 研究会（2日目）

ホテルアジュール・奈良 1F「大紫路（やまとじ）」

（奈良市油坂町1-58 TEL：0742-22-2577）

※近鉄及びJR奈良駅からそれぞれ徒歩約5分

4. 検討事項：テーマ「茶輸出への各地の取組の現状と課題」

(1) 10月21日（水）12：30～17：00

[現地視察]

① 京都府京田辺市

EU向け防除体系実証ほ場（生産者：出島藤司氏、京都茶研：山下幸司氏）

② 京都府相楽郡和東町

和東町における海外交流・茶輸出等の取組

（生産者：未定、和東町農村振興課：馬場正実氏）

(2) 10月22日（木）9：00～12：00

[検討会]

① 挨拶・情勢報告 部会長、農林水産省、等

② 講演

・演題 「緑茶の海外マーケットの現状についてー海外見本市出展、国際会議出席、調査事業を通じてー」（45分）

・講師 公益財団法人世界緑茶協会 西川 博氏

③ 各府県の現状、問題点および総合討論

5. 参集範囲

農林水産省（生産局、技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、近畿農政局、中国四国農政局）、関東東海北陸・近畿中国四国各府県茶業関係行政・試験研究機関、野菜茶業研究所、中央農業総合研究センター、近畿中国四国農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

野菜茶業研究所 企画管理部 業務推進室 茶業チーム 池杉美知男

TEL：0547-45-4105 E-mail：kikaku-cha@ml.affrc.go.jp

7. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途ご連絡します。

平成27年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議

合同茶業部会 現地研究会 開催日程（案）

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 吉田 建実

テーマ「茶輸出への各地の取組の現状と課題」

【10月21日（水）現地視察】

- 12:30 JR京都駅八条口 集合
- 13:30～14:00 京田辺市現地茶園 視察
- 15:00～15:30 グリーンティ和東 視察
- 17:00 近鉄奈良・JR奈良駅 解散

【10月22日（木）研究会】

- 9:00～ 9:10 開会・挨拶
部会長、奈良県農業研究開発センター所長
- 9:10～ 9:15 情勢報告等
農林水産省生産局
- 9:15～10:00 講演
・演題 「緑茶の海外マーケットの現状についてー海外見本市
展示、国際会議出席、調査事業を通じてー」（45分）
・講師 公益財団法人世界緑茶協会 西川 博氏
- 10:00～11:00 各府県の現状、問題点報告
- 11:00～11:40 総合討論
- 11:40～12:00 検討事項（部会事務局）
- 12:00 閉会